

年月日	年齢	主 な 事 項
明治6年1月5日		弘前市五十石町23番地に旧弘前藩士明石栄吉、ともの二男として誕生(ただし、明治5年11月28日生まれ、原籍地は上白銀町5番地の記録もある)。兄弟七人
明治10年	5歳	近くの親戚・藤田正三郎の養子となる。
明治12年	7歳	五十石町の自彊小学に入学、同校は明治14年4月10日焼失、博習小学に依託入学
明治16年	11歳	この年城西小学校開校、同校卒業、さらに大成小学校高等科に進学、1年後、同校は弘前高等小学校となる。
明治19年	14歳	同校卒業
明治20年	15歳	東奥義塾3年編入試験に失敗、同校1年に入学、佐藤紅緑らと文学グループ「覚眠社」結成
明治22年	17歳	義塾2年修了で退学、青森県庁雇・給仕となる。月給6円。
明治24年8月24日	19歳	県庁退職。養家から150円持ち出し、東北線で上京。友人北上貢の下宿に入る。同年11月、明治法律学校入学、同校創立者法学博士熊野敬三の書生となる。
明治27年7月	21歳	同校卒業、同年の判事、弁護士試験不合格、熊野博士の書生生活続く。
明治32年2月4日	26歳	栃木県属に任ぜられる。兵事係兼学務係。
明治32年9月26日	26歳	大蔵省専売局属に転任
明治34年6月10日	28歳	依願退職
明治35年2月	29歳	煙草製造販売業岩谷商会嘱託となる
明治36年12月	30歳	右専務理事
明治37年7月	31歳	煙草業官営となり、岩谷商会は11月解散、よって退任
明治40年11月	34歳	日韓印刷株式会社取締役社長(～大正6年)
明治41年5月24日	35歳	太陽生命保険株式会社取締役。この頃名古屋の豪商小栗家の破産整理に活躍
明治42年5月1日	36歳	東洋塩業株式会社取締役就任、すぐ常務となる。
明治43年5月28日	37歳	太陽生命保険株式会社常務取締役
明治43年8月2日		東洋塩業株式会社を台湾塩業株式会社と改称。専務取締役となる。
明治44年2月21日	38歳	太陽生命保険株式会社を退職
明治44年12月12日		株式会社東京自動車製作所取締役社長に就任
明治45年7月28日	39歳	東洋製糖株式会社取締役就任(鈴木商店直系会社)
大正元年10月25日		東京自動車株式会社解散
大正元年11月17日		後藤毛織株式会社取締役就任
大正2年3月21日	40歳	広島瓦斯株式会社監査役就任
大正2年3月28日		日本活動写真株式会社相談役就任
大正2年6月30日		千代田護謄株式会社取締役就任
大正2年12月24日		東亜煙草株式会社取締役就任
大正2年12月28日		日本活動写真株式会社取締役就任
大正3年7月31日	41歳	広島瓦斯株式会社監査役辞任、同日取締役就任
大正3年12月30日		東亜煙草株式会社取締役社長就任
大正4年1月10日	42歳	千代田護謄株式会社取締役社長就任
大正4年3月26日		後藤毛織株式会社専務取締役就任
大正4年7月29日		東亜 東洋塩業株式会社は大日本塩業と合併により解散、同日、大日本塩業株式会社取締役就任 * 原文訂正

大正4年10月29日		後藤毛織を東羊毛織株式会社と改称、専務取締役就任
大正4年11月29日		駿豆電気鉄道株式会社取締役就任
大正5年3月31日	43歳	広島瓦斯株式会社取締役社長就任
大正5年4月1日		駿豆電気鉄道株式会社取締役社長就任
大正5年8月8日		広島電気軌道株式会社取締役社長就任
大正5年11月20日		大日本塩業株式会社取締役社長就任
大正5年11月27日		駿豆電気鉄道株式会社、富士水電株式会社へ合併により解散
大正5年12月20日		福島炭鉱株式会社取締役就任
大正5年12月28日		富士水電株式会社取締役就任
大正6年1月8日	44歳	東亜煙草株式会社取締役辞任
大正6年2月		東京商業会議所議員就任
大正6年3月19日		東羊毛織株式会社、東京毛織株式会社と合併により解散、同日、東京毛織株式会社取締役就任
大正6年4月30日		千代田護謨株式会社社長辞任
大正6年6月25日		鬼怒川水力電気株式会社取締役就任
大正6年7月27日		広島電気軌道株式会社を広島瓦斯株式会社へ合併して広島瓦斯電鉄株式会社と改称す。同日、広島瓦斯電鉄株式会社取締役社長として引続き就任す。
大正6年9月25日		さらに広島瓦斯電軌株式会社と改称す。
大正6年8月8日		中津川水電株式会社取締役就任
大正6年11月5日		駿豆鉄道株式会社取締役就任
大正6年11月29日		関西電球株式会社取締役就任
大正6年12月5日		台湾塩業株式会社を大日本塩業株式会社へ合併したので台湾塩業株式会社専務取締役を退任す。大日本塩業株式会社取締役社長引続き就任
大正6年12月10日		東京護謨株式会社取締役社長就任
大正6年12月		日韓印刷株式会社を解散。個人経営に変更、社長退任
大正7年1月25日	45歳	北海道拓殖株式会社監査役就任
大正7年2月25日		東洋鉱泉株式会社取締役社長就任
大正7年4月27日		帝国石油株式会社取締役社長就任
大正7年4月29日		東洋遊園地株式会社取締役就任
大正7年6月21日		泉尾綿毛紡績株式会社取締役就任
大正7年6月24日		東京毛織株式会社専務取締役就任
大正7年8月26日		大正商船株式会社取締役就任
大正7年9月16日		浪越汽船株式会社監査役就任
大正7年10月8日		東海石炭株式会社監査役就任
大正7年10月24日		出羽石油株式会社取締役社長就任
大正7年11月2日		大日本塩業株式会社取締役社長辞任
大正7年11月10日		日本冶金株式会社取締役就任
大正7年11月21日		三重セメント株式会社取締役社長就任
大正7年12月25日		藤田が取締役だった泉尾綿毛紡績株式会社を東京毛織株式会社に合併
大正7年12月26日		九州耐火煉瓦株式会社取締役就任
大正8年1月25日	46歳	広島瓦斯電軌株式会社取締役社長辞任、取締役就任
大正8年2月4日		日本活動写真株式会社取締役社長就任
大正8年3月7日		東亜澱粉株式会社相談役就任
大正8年3月20日		三重セメント株式会社社長辞任
大正8年5月10日		信越電力株式会社取締役就任

大正8年6月7日		東亜澱粉株式会社取締役社長就任
大正8年6月11日		中津川水電株式会社は信越電力株式会社と合併により解散、取締役退任
大正8年6月21日		鬼怒川水力電気株式会社取締役退任
大正8年6月27日		天満織物株式会社取締役就任
大正8年6月28日		東京瓦斯電気工業株式会社取締役就任
大正8年10月20日		三国紡績株式会社取締役社長就任
大正8年10月28日		関西電球株式会社取締役辞任
大正8年11月3日		山一汽船株式会社監査役就任
大正8年11月21日		日本拓殖株式会社取締役就任
大正8年12月26日		長門起業炭鉱株式会社取締役社長就任
大正9年1月20日	47歳	南朝鮮鉄道株式会社監査役就任
大正9年1月28日		大正7年米価騰貴の際救済の為、金一千円寄付したことに対し賞勲局から銀杯一個を下賜される
大正9年3月25日		箱根土地株式会社取締役社長就任
大正9年3月29日		東京電機製造株式会社相談役就任
大正9年4月1日		東洋醸造株式会社相談役就任
大正9年6月4日		日本羊毛工業会理事就任
大正9年6月26日		日本フェルト株式会社取締役就任
大正9年9月8日		大正商船株式会社解散、取締役退任
大正9年9月10日		藤田合名会社代表社員就任
大正9年11月15日		出羽石油株式会社が帝国石油株式会社へ合併により解散、社長辞任
大正9年12月25日		浪越汽船株式会社監査役辞任、東海石炭株式会社監査役辞任
大正9年12月29日		東洋鉱泉株式会社解散につき社長辞任
大正10年6月15日	48歳	東亜澱粉株式会社取締役社長辞任、監査役就任
大正10年9月29日		山一汽船株式会社監査役辞任、九州耐火煉瓦株式会社取締役辞任
大正10年11月28日		日本冶金株式会社取締役辞任
大正10年11月29日		大正8年7月東京府荏原郡大井町小学校営繕費金三千円を寄付したことに対し褒章条例により賞勲局から褒状を賜わる
大正10年12月2日		日本拓殖株式会社取締役辞任
大正10年12月26日		強羅土地株式会社相談役就任
大正11年1月9日	49歳	岩業帝国炭業株式会社取締役就任 * 原文訂正
大正11年3月15日		クロード式窒素工業株式会社取締役就任
大正11年3月31日		旭石油株式会社取締役就任
大正11年5月23日		大正9年7月、弘前市城西尋常小学校敷地買収費金二千円を寄付したことに対し、褒章条例により賞勲局から褒状を賜わる
大正11年5月		帝国石油株式会社は旭石油株式会社へ合併により解散、社長退任
		天満織物株式会社取締役辞任
		三国紡績株式会社取締役社長辞任
大正11年5月25日		南朝鮮鉄道株式会社監査役辞任、取締役就任
大正12年3月30日	50歳	東亜製粉株式会社専務取締役、社長就任
大正12年3月		財団法人青森県奨学会監事、評議員就任
		広島瓦斯電軌株式会社取締役辞任
大正12年4月		財団法人東奥義塾評議員就任
大正12年6月		東亜澱粉株式会社監査役辞任
大正12年7月31日		駿豆鉄道株式会社取締役辞任

大正13年1月30日	51歳	北海道拓殖株式会社監査役辞任
大正13年3月27日		東洋製糖株式会社取締役辞任
大正13年4月2日		帝国経済会議員(～11月25日迄)
大正13年4月15日		富士水電株式会社取締役社長就任
大正14年1月10日	52歳	東洋遊園地株式会社取締役辞任
大正14年1月25日		箱根土地株式会社取締役社長辞任
大正14年1月30日		秋田鉄道株式会社取締役就任
大正14年1月31日		帝国 石炭 炭業株式会社取締役辞任 * 原文訂正
大正14年4月10日		強羅土地株式会社は箱根土地株式会社と合併して解散、同社相談役退任
大正14年5月		日本経済連盟評議員就任
大正14年7月1日		日本製粉株式会社と東亜製粉株式会社合併、東亜製粉株式会社解散につき社長退任
大正14年10月1日		東京電灯株式会社に富士水電株式会社合併、解散につき富士水電社長退任
大正14年11月7日		日本羊毛工業理事長就任
大正14年7月		国産新興会事業委員就任
大正15年1月	53歳	青森県奨学会監事辞任、理事就任
大正15年1月30日		東京護謨株式会社取締役社長辞任
大正15年2月		青森県奨学会副理事長就任
大正15年2月		国産新興会副会長就任
大正15年7月20日		東京商業会議所会頭に就任
		商業会議所連合会会長就任
大正15年7月29日		明治漁業株式会社取締役社長辞任
大正15年8月27日		中央職業紹介委員会委員
大正15年9月		国産新興東京博覧会会長就任、この博覧会はのち大正記念国産新興東京博覧会と改称、昭和3年5月27日閉会
大正15年11月1日		大正15年度東京地方裁判所商事調停委員就任
大正15年12月20日		大正16年度東京地方裁判所商事調停委員就任
昭和元年12月28日	54歳	播美鉄道株式会社取締役就任
昭和2年1月28日		福島炭鉱株式会社取締役辞任
昭和2年3月10日		東京瓦斯電気工業株式会社取締役辞任
昭和2年5月		日本経済連盟理事就任、常務理事となる
昭和2年5月24日		商工審議会委員
昭和2年7月1日		旭石油株式会社取締役辞任
昭和2年7月7日		人口食糧問題調査会臨時委員
昭和2年7月9日		クロード式窒素工業株式会社取締役辞任
昭和2年7月11日		勤儉奨励中央委員会委員
昭和2年7月16日		播美鉄道株式会社取締役辞任
昭和2年7月20日		財団法人中央社会事業協会委員
昭和2年8月1日		毛斯綸紡織株式会社と東京毛織株式会社と合併、合同毛織株式会社設立、東京毛織専務取締役退任、合同毛織株式会社相談役就任
昭和2年8月4日		航空輸送会社設立準備委員(～昭和3年6月29日)
昭和2年9月30日		日本活動写真株式会社取締役社長辞任、相談役就任
昭和2年10月8日		臨時港湾調査会京浜運河関係委員就任
昭和2年10月31日		東京市臨時財政調査会委員就任

昭和2年11月6日		日本羊毛工業会理事長就任
昭和2年12月20日		昭和3年度東京地方裁判所商事調停委員就任
昭和2年12月22日		日本フェルト株式会社取締役辞任
昭和3年1月1日		商工会議所法により東京商工会議所会頭就任
昭和3年3月10日	55歳	帝国火災保険株式会社取締役社長就任
昭和3年3月31日		財団法人啓成社理事就任
		スイス・ジュネーブ第11回ILO総会使用者代表委員となる
昭和3年4月4日		貴族院令第1条4号により貴族院議員となる
昭和3年4月18日		日豪協会副会長就任
昭和3年4月24日		商業会議所連合会会長を解散により退任
昭和3年4月～8月		訪欧・ILO総会出席
昭和3年6月29日		航空輸送会社準備委員退任
昭和3年12月28日		勲三等瑞宝章授与さる
昭和4年7月1日	56歳	「訪欧余禄」出版
昭和4年8月		売勲疑獄事件おこる
昭和5年5月	57歳	東商・日商会頭を辞任
昭和8年5月18日	60歳	東京地方裁判所、五私鉄疑獄・売勲事件・合同毛織会社事件の併合審理に五年振りに判決。藤田は毛織関係で有罪、翌年の控訴審、翌々年の大審院でも有罪となる。
昭和10年	62歳	疑獄判決確定で一切の公職辞任
昭和14年12月	66歳	「世界平和への道」刊行
		蒙古徳王令嗣トガルソロンを招待、自宅に滞在、太平洋戦争末期に帰国する。
昭和14年10月～15年春		南京政府要人令嗣三人を留学招待、自宅に滞在して貰い、世話をする
昭和21年3月12日	73歳	東京慈恵医大附属病院にて没す。享年73歳。
		東京堀の内東本願寺別院に眠る。

(昭和3年までは藤田謙一自筆履歴書による)